

みずほCustomer Desk Report 2018/07/17号(As of 2018/07/16)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	112.41	1.1680	131.29	1.3226	0.7419
SYD-NY High	112.55	1.1725	131.69	1.3292	0.7443
SYD-NY Low	112.10	1.1676	131.16	1.3217	0.7411
NY 5:00 PM	112.27	1.1711	131.49	1.3236	0.7421
NY DOW	25,064.36	44.95	日本2年債	-	-
NASDAQ	7,805.72	▲ 20.26	日本10年債	-	-
S&P	2,798.43	▲ 2.88	米国2年債	2.5967	1.67bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.7497	2.39bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.8555	2.75bp
シカゴ日経先物	22,565.00	▲ 25.00	独10年債	0.3025	2.10bp
ロンドンFT	7,600.45	▲ 61.42	英10年債	1.2795	0.85bp
DAX	12,561.02	20.29	豪10年債	2.6315	▲0.40bp
ハンセン指数	28,539.66	14.22	USDJPY 1M Vol	6.75	▲0.01%
上海総合	2,814.04	▲ 17.14	USDJPY 3M Vol	7.15	▲0.05%
NY金	1,239.70	▲ 6.90	USDJPY 6M Vol	7.53	▲0.11%
WTI	68.06	▲ 2.95	USDJPY 1M 25RR	-0.44	Yen Call Over
CRB指数	191.17	▲ 2.56	EURJPY 3M Vol	7.70	▲0.17%
ドルインデックス	94.51	▲ 0.24	EURJPY 6M Vol	8.23	▲0.24%

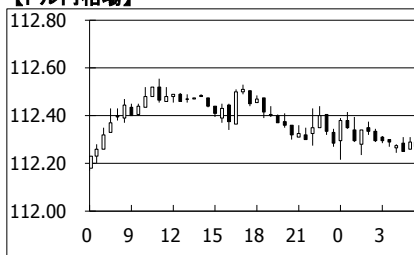
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月16日	11:00	中 GDP(前年比)	2Q 6.7%	6.7%
	11:00	中 小売売上高(前年比)	6月 9.0%	8.8%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	6月 6.0%	6.5%
	21:30	米 小売売上高速報(前年比)	6月 0.5%	0.5%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	7月 22.6	21.0

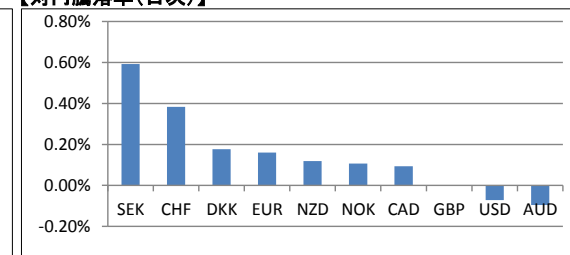
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月17日	17:00	英 カーニー英中銀総裁講演	-	-
	17:30	英 ILO失業率	5月 4.2%	4.2%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	6月 0.5%	-0.1%
	23:00	米 バウエルFRB議長議会証言	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.40	1.1650-1.1750	131.00-132.00

【マーケット・インプレッション】

先週末から昨日にかけてのドル円相場は上値重く推移。13日アジア時間に約半年ぶりの高値を更新するも、海外時間に入り、予想を下回る米指標の発表を受けドルが全般に軟調な推移となるとドル円もじりじりと水準を切り下げ。東京休日となった17日は主だった材料もない中、112円台半ばで方向感に欠く展開に。本日のドル円相場は、先週末から水準を切り下げしており、相応に買い需要があると思われる。112円前半をサポートに徐々に上値を切り上げる展開を予想したい。一方で、懸念される米中貿易摩擦は米国の2000億ドル規模に渡る追加関税の検討との報道以降、膠着している状況であり、依然として不確実性をもたしている。

アジア時間のドル円は112.41レベルでオープン。東京市場が祝日で休場となる中、取引は閑散。手がかり材料に欠ける中、午前中に高値112.55まで上昇する場面も見られたが、参加者が限られる中で積極的な上値追いにはならず、その後は112.45レベルでのみあい。結局値幅は18銭のレンジとなり、112.43レベルで海外市場へ渡った。

ロンドン市場のドル円は、112.43レベルでオープン。目立ったヘッドラインがない中、引き続き狭いレンジで推移し、112.32レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1700レベルでオープン。終日にわたり緩やかに上昇し高値1.1725まで堅調に推移し、3営業日ぶりの水準まで回復した。その後は上昇幅を戻す形で推移し1.1716レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3242レベルでオープン。こちらも狭いレンジで推移したものの、ユーロの上昇につられる形で小幅に上昇。1.3275レベルでNYに渡った。

海外市場で高値112.55まで上昇したドル円は、中国第2四半期GDP(前年比)が前回から低下したものの、ドル円の反応は限定的となり、その後は特段ニュースは見当たらない中、ドル売りが優勢となる一方、クロス円の買いにドル円は値を挟まれ、狭いレンジでの推移が続き、112.32レベルでNYオープン。朝方は、米6月小売売上高が前回から低下したものの、前回分が上方修正されたことや、7月NY連銀製造業景気指数が予想を上回ったことからややドル買いが強まり112.44まで上昇する。その後はIMFが貿易の緊張が短期的な世界成長のリスクになっていると指摘したことや、米通商代表部が中国、EU、カナダ、メキシコ、トルコに対して報復関税は不当とWTOに提訴手続きとのヘッドラインを受け112.22まで下落する。正午前になり、トランプ米大統領とプーチン露大統領の共同記者会見が開始されたが、市場の反応は限定的となる。午後は、112.30付近での閑散な推移が続き、112.27レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが優勢となったことから1.1725まで戻し、1.1716レベルでNYオープン。朝方は再び高値1.1725まで戻す局面もあったものの、小売売上高、NY連銀製造業景気指数を受けたドル買いに1.1704まで反落する。その後は一旦1.1724まで反発するも戻り売りに1.1694まで下落する。午後は1.1710付近での狭いレンジでの推移が続き、1.1711レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・鶴田